

コロンビア経済情勢（8月）

8月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- 鉱業エネルギー省、エネルギー移行ロードマップを公表（2日）
- アンドレス・カマチョ氏、新鉱業エネルギー大臣に任命（2日）
- 7月インフレ率（年率）11.78%に（9日）

【本文】

1 主な出来事

〈国内情勢〉

（1）金融政策・物価関連

ア 2023年の経済成長率予測（「エル・エスペクタドール」紙、3日）

2日、コロンビア中銀は2023年及び2024年の経済予測を発表した。コロンビアが「引き続き経済活動が高い水準にあり、労働市場が改善しており、インフレ率は予測よりも早く低くなっている」と強調。一方、2023年の経済成長予測を1%から0.9%に下方修正し、外的要因による強い不確実性が理由とした。また、2024年の経済成長予測の1%は維持した。

イ 7月インフレ率（年率）11.78%に（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、9日）

国家統計局（DANE）によれば、7月のインフレ率（年率）は11.78%となった。月間インフレ率は0.50%であった。

ウ ペトロ大統領、中銀に利下げを求める（「ポルタフォリオ」紙、16日）

ペトロ大統領は、コロンビア経済はインフレが収束しつつあり、（高金利による）資金不足で経済成長に悪影響が及んでいると主張、中銀は利下げする必要があると発言した。同発言は、15日、DANEが第2四半期のGDPが前年同期比で0.3%成長であったと発表した後に行われた。

エ 雇用関連

（ア）6月失業率、非正規雇用率（「エル・ヌエボシグロ」紙、1日）

DANEによれば、6月の失業率は9.3%と、前年6月の11.3%と比し大幅減となった。また、非正規雇用率は前年6月の58.3%よりも低い55.7%となった。

（イ）7月失業率1桁を維持（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、31日）

DANEによれば、7月の失業率は9.6%と、前年7月の11%と比べ大幅

減となった。男女別の失業率では、男性が7.9%、女性が11.9%となっている。また、7月の全国の就業者人口は2,310万人で、前年同月比5.1%増。

(2) 財政関連

ア 6月までの税収、148兆ペソに（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、7日）

国税・税関庁（DIAN）は、本年上半期の税収が前年同期比30.3%増の148兆ペソに達したと発表した。このうち、所得税は81.6%、付加価値税（IVA）は32.7兆ペソ（申告によるIVA徴収26.3兆ペソ、源泉徴収によるIVA徴収6.3兆ペソ）であった。

イ 5月対外債務残高（「ラ・レプブリカ」紙、10日）

コロンビア中銀は、5月時点の対外債務残高が1,868.5万ドル（GDP比55%超相当）となった旨発表した。前月比では0.25%減、前年同月比では6.28%増であり、内訳は、民間債務807.5万ドル、公的債務は1061.1万ドルであった。

ウ 大統領府の予算執行率が政府内で最低（「ポルタフォリオ」紙、20日）

財務公債省によれば、大統領府の本年度予算は2.74兆ペソであるが、そのうち3,050億ペソ（11.11%）の予算が8月16日までに執行されたのみとなっている。これはコロンビア政府内で一番低い執行率となる。

(3) 鉱業エネルギー関連

ア 鉱業エネルギー省、エネルギー移行ロードマップ（案）を公表（「ラ・レプブリカ」紙、2日）

1日、鉱業エネルギー省は、エネルギー移行ロードマップ（案）を公表した。8月16日まで関係セクターや国民のコメントを求める。

イ コロンビア、天然ガス及び原油の輸入国へ（「ラ・レプブリカ」紙、3日）

1日に発表されたエネルギー移行ロードマップ（案）を構成する4文書が2日、鉱業エネルギー省から発表された。同文書では、原油及び天然ガスの埋蔵量の詳細が示され、原油は2028年、天然ガスは2026年に輸入することになると分析した。

ウ ディアス鉱業エネルギー次官（代理）の辞任（「ポルタフォリオ」紙、2日）

ディアス鉱業エネルギー次官（代理）がベレス大臣の辞任に伴い、辞任した。ディアス次官（代理）は、ルイス次官（エネルギー担当）の辞任以降、次官代理を務めていた。

エ 新鉱業エネルギー大臣の任命（「ポルタフォリオ」紙、3日）

7月19日に提出されたベレス大臣の辞表が8月2日、大統領令の発出をもって受理された。また、ペトロ大統領は、アンドレス・カマチョ氏を新鉱業エネルギー大臣に任命した。

オ エコペトル社、プトゥマヨ県で油田・ガス田を発見（「ポルタフォリオ」紙、11日）

エコペトル社は、本年2例目の油田・ガス田を発見したと発表した。発見されたのは、プトゥマヨ県オリト市にあるアルカマリ2油井で、天然ガス及び原油の存在が確認された。同油井の深度は地下9,287フィートで、日量1,800バレル超の生産が見込まれる。

カ パール氏が新コロンビア石油ガス協会会長に就任（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、11日）

8月15日に辞任したジョレダ・コロンビア石油ガス協会（ACP）会長の後任に、フランク・パール元環境大臣が就任した。パール氏はFARCとの和平交渉官など、政府機関の他、コンサルタント等の企業での勤務経験も有する。環境大臣在職期間は2011年から2012年（サントス政権下）。

キ 鉱業エネルギー大臣、関係局長等に辞任を求める（「ラ・エフェエメ」、16日）

カマチョ新鉱業エネルギー大臣は、ファハルド企業局長、ベナビデス金融担当副局長に辞表を提出するよう求めた。また、アルバレス炭化水素庁（ANH）金融担当副長官にも辞表提出を求めた。予算の未執行が理由とされる。

ク カマチョ新大臣の見解（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、17日）

カマチョ新鉱業エネルギー大臣は、エネルギー移行がペトロ政権だけではない国家の優先事項であると述べ、今後数十年間にわたって進められると発言した。また、石油開発に関しては、新規開発契約の締結のみで、現在可採年数が数年となった埋蔵量の増加が可能となるわけではないとの考えを示した。さらに燃料価格については、軽油価格の引上げが決定されてはいないものの、年内に価格調整が行われることが望ましいと述べた。

ケ エコペトル社副社長4名の辞任（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、「エル・ティエンポ」紙、17日）

エコペトル社のロア社長が就任して4か月、同社副社長4名が辞任した。16日にアルバン副社長（コンプライアンス担当）が辞任し、カバジェロ副社長（金融担当）及びバエス副社長（低排出ソリューション担当）は17日、グティエレス副社長（科学技術・イノベーション担当）は31日に辞任する。後任の副社長は以下のとおり。

・ロペス (Ana Milena Lopez Rocha) 副社長（金融担当）

- ・リアニヨ (David Alfredo Riano Alarcon) 副社長 (低排出ソリューション担当)
- ・シルバ (Maria Silva Escobar) 副社長 (コンプライアンス担当)
- ・キンタナ (Juanita Quintana Valdivieso) 副社長 (科学技術・イノベーション担当)

コ 鉱業プロジェクト、税制改革によりリスクが生じる(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、22日)

コロンビア鉱業協会(ACM)は、税制改革法により鉱業プロジェクトの実施がリスクにさらされるとして、憲法裁判所に提訴しており、その判決が待たれる。同法第19条では所得税の対象にロイヤリティも含まれており、第10条では石炭価格が高くなった場合には追加税を設定する旨が規定されている。

(4) インフラ関連

ア 外国企業4社がボゴタ・メトロ2号線建設入札に参加(「ラ・レプブリカ」紙、11日)

11日、ボゴタ・メトロ2号線建設の一次入札受付期間が終了した。ロペス・ボゴタ市長は、外国企業4社から入札希望を受け付けたと発表、今後、4社の法的・技術的条件が精査される。9月29日から、全長15.5km、11駅で構成されるメトロ2号線の建設提案が行われる。入札希望を出した4社は以下のとおり。

Mota Engil Colombia(ポルトガル企業。CRRC 香港との提携)

中国港湾工程有限責任公司他

China Railway Construction Electrification Bureau Group 他

Sacyr Concesiones Colombia Participados II, Acciona Concesiones,

CAF Investment Projects のコンソーシアム

イ 道路通行料金の値上げ凍結により赤字13.8兆ペソに(「ラ・レプブリカ」紙、11日)

コロンビア・インフラ会議所(CCI)は、道路通行料金の値上げ無期限凍結により道路関連プロジェクトで赤字が生じると注意喚起した。今後数年間で同赤字は13.8兆ペソにのぼり、財政が犠牲になるとともに国内インフラに投資する外資にも影響するとの見解を示した。

ウ 財務公債省、金融機関に大規模工事に対する支援を求める(「ポルタフォリオ」紙、17日)

ボニージャ財務公債大臣は、全国経営者協会(ANDI)第8回企業会合に出席し、設計が終了した大規模工事を進めるため融資するよう国内金融機関に支援を求めた。大臣は、政府が国内金融機関や建設業者と会合を重ね、公共事業の実施について協議したが、高金利が障害となっていると述べた。

エ 580本の橋梁が要補修（「ラ・レプブリカ」紙、30日）

カマルゴ運輸大臣は、国内橋梁580本に補修の必要があり、補修費用に2兆ペソ（約4.9億ドル）が必要と発言した。その多くは国内東部に偏在する。

（5）その他

ア 外国直接投資（「エル・ヌエボシグロ」紙、9日）

コロンビア中銀及びラ米準備基金（FLAR）の調査によれば、2015～2022年の外国直接投資（FDI）の76%が鉱業エネルギー部門の経済活動に向けられていた。

イ コーヒー生産、2か月連続で安定（「ポルタフォリオ」紙、9日）

コロンビア・コーヒー生産者連盟（FNC）は、7月の生産・輸出統計を発表した。7月のコーヒー生産は前年同月比0.4%増の94.7万袋（60kg）を記録した。しかし、過去12か月間の生産量で見ると、気候変動等により前年比11%減となった。輸出量も前年同月比17%減の84.6万袋となった。

ウ 労働改革法案、政府が新たに議会へ提出（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、24日）

24日、政府は労働改革法案を新たに議会へ提出した。前会期中に提出された労働改革法案は審議未了となったが、新法案では、夜間勤務の開始時間が現行の21時から19時に変更され、日中勤務は6時から19時までとなる。

エ GDP第2四半期は0.3%成長（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、15日）

DANEによれば、2023年第2四半期のGDPは、前年同期比で0.3%となった。寄与度が高かったのは、公務・国防、教育、保健で4.5%増、芸術・娯楽が12.2%増、鉱業が3.8%増となっている。

オ 国際航空旅客数、2023年上半期27%増（「ポルタフォリオ」紙、22日）

国際航空運送協会（IATA）によれば、2023年上半期の国際航空旅客数は前年同期比27%増の875万2,272人を記録した。パンデミック以前の水準には16%足りず、ラ米地域全体も2019年と比較して19%減の状況。コロンビアのみが旅客数を伸ばしている。

カ ペトロ大統領、経済界代表と会合（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、30日）

29日、サンチェス全国公共サービス・通信事業者協会（ANDESCO）会長は、「我が国にとって良いニュースは、政府と経済界が争っているわけではないということだ」と述べ、ペトロ大統領と経済界代表との会合を評価した。同会合では、治安問題の解決及び雇用創出等について引き続き政府と経済界が協議

することが確認された。

〈対外経済関係〉

(1) 通商関連

ア 6月輸入21.2%減（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、15日）

DIANによれば、2023年6月の輸入は、前年同月比21.2%減の50億1,520万ドルとなった。輸入減は工業製品の減少（19.2%）によるもの。工業製品の輸入は輸入総額の75.0%を占める。次いで農牧製品の13.9%、燃料・石油製品の11.0%、その他0.04%となっている。一方、2023年6月の貿易収支は、7億6,610万ドルの赤字（前年同月は3億8,230万ドルの赤字）となっている。

イ 6月輸出27.5%減（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、3日）

DANEによれば、6月の輸出は前年同月比27.5%減の39億8,600万ドル（FOB）となった。輸出総額の50.3%を占める燃料及び石油製品の輸出減（38.9%減）による影響が大きい。

ウ ウマニャ商工観光大臣、ペトロ大統領の発言を訂正（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、18日）

ウマニャ商工観光大臣は、ANDIの会合に出席し、ペトロ大統領が対米FTAの再交渉を行っているとの発言について、両国で均衡の取れた条件にするため協定の各条項を再検討していると述べ、大統領の発言を訂正した。

エ 政府、輸出業者への一部税還付メカニズムを発表（「ラ・レプブリカ」紙、18日）

商工観光省、農業地方開発省及び財務公債省は、ドローバック制度を短期間運用する。同制度により、輸出の間接税の1%が還付される。ウマニャ商工観光大臣は、輸出業者への税還付は現在実施されていないものの、近々実施するために検討を進めていると発言した。

オ コロンビア、アボカド・ハス種世界第3位の生産国（「エル・ヌエボシグロ」紙、25日）

コロンビア貿易協会（ANALDEX）によれば、2022年9月時点での統計で、コロンビアはアボカド・ハス種の生産がメキシコ、ドミニカ共和国に次ぐ第3位となった。コロンビアの同種輸出額は1億7,820万ドルで、主要な輸出先は、オランダ（42.7%）、米国（26.2%）、英国（9.6%）となっている。

（２）国際協力関連

米NASAと宇宙分野での協力（大統領府プレスリリース、１日）

１日、ペトロ大統領は、ネルソン米航空宇宙局（NASA）長官と大統領府で会談した。ペトロ大統領は会談で、コロンビアで進める人工衛星の開発や科学技術分野での教育に関する協力を要請した。

主な経済指標

経済活動指標	2022/06	2023/04	2023/05	2023/06
国内総生産(四半期)(DANE):%	12.3	-	-	-
経済活動指数(DANE):%	8.3	-0.8	0.6	-
経済活動指数第1次産業(DANE):%	-1.0	-2.9	1.3	-
経済活動指数第2次産業(DANE):%	10.0	-6.8	0.6	-
経済活動指数第3次産業(DANE):%	9.6	0.8	0.6	-
エネルギー需要(XM):GWh	6,207.7	6,365.5	6,845.2	6,581.6
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	3.1	1.8	4.0	6.0
雇用				
全国平均失業率(DANE):%	11.3	10.7	10.5	9.3
主要13都市失業率(DANE):%	11.7	11.1	11.2	8.8
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	2.9	-28.8	-22.8	-14.1
実質小売売上高指数(DANE):%	17.2	-6.9	-5.1	-
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	23,323	13,777	15,695	14,435
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	123,849	60,739	76,434	90,869
物価				
消費者物価上昇率-前月比(DANE):%	0.51	0.78	0.43	0.30
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	9.67	12.82	12.36	12.13
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	-0.59	-1.34	-1.73	-2.71
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	9,372	11,573	12,173	12,773
生産				
実質工業生産指数(DANE):%	12.3	-6.4	-3.4	-
実質工業売上高指数(DANE):%	9.6	-7.7	-2.2	-
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	2,534,324	1,459,129.0	2,187,298.0	-
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	951	565.9	806.2	-
コーヒー生産量-前年同月比:%	-9.6	-30.1	30.9	-
コーヒー価格(IOC)/11月から“SUAVE”:USD	301.24	232.4	229.1	215.4
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	753,209	782,277.0	773,788.6	-
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	8.5	4.9	10.0	-
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	747,634	771,931.4	772,302.8	-
石油価格WTI:USD/バレル	114.84	79.5	71.6	70.3
金融				
政策金利(中央銀行):%	6.00	13.00	13.25	13.25
為替 月初(中央銀行):COP	3,776.52	4,646.08	4,669.00	4,434.09
為替 月末(中央銀行):COP	4,127.47	4,669.00	4,408.65	4,191.28
為替 最高値(中央銀行):COP	4,129.87	4,669.00	4,713.08	4,434.09
為替 最安値(中央銀行):COP	3,771.63	4,424.02	4,408.65	4,114.39
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,604.54	1,183.20	1,157.99	1,117.93
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,322.88	1,198.81	1,099.03	1,133.60
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,614.09	1,257.24	1,164.18	1,199.68
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,322.88	1,167.51	1,092.64	1,117.93
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-331	-923	-599	-
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	5,547	3,739	4,531	3,986
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	74.3	25.6	46.3	25.3
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	28,474	16,099	20,630	24,616
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	6,368	4,943	5,419	-
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	29.4	5.2	23.9	-
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	38,506	21,387	26,806	26,806
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	822	737	877	783